

オリバイン BPS 6617

1. 特徴

低温接着力に優れた2液硬化型アクリル系粘着剤です。

2. 性状

	主剤 < BPS 6617 >	硬化剤 < BXX 5983 TF >
外観	淡黄色透明液体~淡黄色不透明液体	無色~淡黄色透明液体
不揮発分	56.5 ± 1.0 %	5.0 ± 0.3%
粘度	5000 ± 1000 mPa·s	—
溶剤	酢酸エチル、MEK、ヘキサン	MEK、IPA

(粘度: B型 #3/12min⁻¹ at 25°C)

3. 使用方法(例)

配合 : 主剤 1Kg / 硬化剤 2.3~4.3g

塗布量 : 約 25g/m² (dry)

乾燥 : 100°C-2min 熱風オープン

熟成 : 塗工後、23°C-50%RH、7days

4. 性能

試験項目			測定値		
硬化剤量 部			0.23	0.33	0.43
粘着力 [N/25mm]	23°C-50%RH 24hrs	SUS	26.8 CF	16.8 CL	15.3 CL
		PP	11.9 CL	11.7 CL	10.3 CL
		PE	4.7	4.5	4.5
	5°C 24hrs	SUS	21.6 (CL)	22.1 (CL)	21.1 (CL)
		PP	14.0	16.4	16.0
		PE	8.6	9.8	9.6
保持力 [mm/70,000sec]	40°C-1Kg	SUS	0.20mm	0.10mm	0.05mm
曲面貼付性 [mm]	φ10 70% 23°C-7days	PE	2.5	10	20
定荷重 [mm/sec]	23°C-200g,3hrs	SUS	8800sec CF	55mm CF	45mm CFCL
ボールタック [#]			11	11	11

* CF:凝集破壊 CL:曇り ():僅か

<試料作成条件>

配合 : BPS 6617 / BXX 5983 TF = 100 / 0.23~0.43
 剥離紙 : ポリラミグラシン紙セパレーター
 基材 : 市販ポリエステルフィルム 50μm
 塗工 : 弊社テストコーターにて転写塗工
 塗布量 : 約 25g/m² (dry)
 乾燥 : 90°C-1min (乾燥炉長 3m)
 熟成 : 塗工後 23°C-50%RH、7days

5. 使用上の注意事項

保存方法 : 屋内にて直射日光を注意して保存
 取り扱い : 危険物につき火気厳禁
 配合 : 水分混入注意

*本資料記載データは弊社試験に基づくものでありますが、使用された場合の性能を保証するものではありません。ご使用に際しましては、ユーザー各位の使用条件で事前確認の上、ご採用いただきますようお願い申し上げます。

6. 一般試験方法

<粘着力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着し 24 時間後に測定する。測定は引っ張り試験機を用い、180 度方向へ 300mm/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm×長さ 100mm
被着体	:	SUS 板、PP 板、PE 板
測定雰囲気	:	23°C-50%RH、5°C

<保持力>

試料を 23°C-50%RH 内で被着体に貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着する。貼着試料は測定雰囲気内で 20 分放置後荷重を掛け、落下する迄の秒数又は一定時間に於けるクリープ状態を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm×長さ 100mm
貼着面積	:	巾 25mm×長さ 25mm
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	40°C
荷重	:	1Kg

<曲面貼り付け性>

試料を被着体(丸棒)に貼り合わせ、23°C-50%RH で 7 日間経時し、両端部の剥がれた長さの合計を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm×長さ 被着体の円周の 7/10
被着体	:	PE 棒 10mmΦ
測定雰囲気	:	23°C-50%RH

<定荷重>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2kg 往復圧着後測定する。貼着試料は測定雰囲気内で 20 分放置後、荷重を掛け、落下する迄の秒数又は 3 時間後のクリープ状態を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm×長さ 100mm
貼着面積	:	巾 25mm×長さ 80mm
被着体	:	SUS 板
荷重	:	200g
測定雰囲気	:	23°C-50%RH

<ボールタック(J.DOW 法)>

傾斜角 30 度で助走 10cm 糊面 10cm の試料にスチールボール(1/32~32/32 インチ)を転がし、糊面の中央付近に停止するボールの径の番号を表示する。測定雰囲気は 23°C-50%RH で実施する。